

交流会では、給食も食べいただきました。数十年ぶり
という方をおられ、脱脂粉乳の思い出話も咲いていました。
おいしいと感じたことは一度もなかったそうです。

令和7年3月18日
第41号 文責 田中 宏和

域を目指したいと改めて思いました。

「もう、うれしくてうれしくて……」

ちょうど一週間前、本校近隣在住の高齢のご婦人が突然訪ね来られました。本校六年生の尾崎愛花さんからもらつた感謝のお手紙（右）に、ものすごく感激、感動されたことをわざわざ伝えに来られたのでした。その感激の様子にこちらも嬉しくなつてしまい、目頭が熱くなりました。

同地区の民生委員さんの話では、ご婦人は見守り隊ではなくて来られたのでした。その優しいお気持ちは子どもたちの胸に届いていました。愛花さんは六年にわたる「おばあちゃん」との交流の中で、あいさつの良さを肌で学んだのです。とても嬉しいです。「私が好きで行つているだけだから……」ともう一度お伝えしますが、その優しいお気持ちは子どもたちの胸に届いています。

もともと、この地域の交流は、ご婦人の見守り隊ではありませんでした。学校評価結果や子どもたちの様子などを伝える「ミナミちゃんルーム」は、子どもたちの成長を地域全体で見守つていくための心地や起点をイメージしています。

三月十四日（金）は、一五〇周年記念事業実行委員会でお世話になつた方々を中心に、二四名の地域の方々においでいただきました。学校の清掃を手伝わせて欲しいなどのご意見もいただきました。それは、ありがたくも早速の交流アイデアでした。最後は給食も食べていただき、「楽しかった」と言つてお帰りになりました。私たちにとっても楽しい時間でした。

様々な機会に保護者や地域の方々に学校に来ていただくための交流に他ならないと思います。こんな琴線に触れるような話を、五者で度々語り合いたいです。だから、「ミナミちゃんルーム」にはティッシュも用意しておきます。

おばあちゃんへ

こんにちは。6年間おばあちゃんのやさしい笑顔のあいさつで、毎日毎日支えられている尾崎愛花です。

私は、6年間ずっと、雨の日も雪の日も、とても暑い日も

毎日毎日、私たちを見守ってくれるおばあちゃんがとてもすごいと、感激しました。私なら絶対にできません。

私はもともと、あいさつをすることがとても苦手でした。でもおばあちゃんのあいさつを受けると、心のモヤモヤしていたことも、いっさくなくなって、ぱくぱくだんだんと晴れてきて、あいさつって、相手も自分も、やわらかい気持ちにするのことを知りました。これをきっかけに家で、あいさつの練習をしたりして、たくさんの人においさつをしました。

最初は、もちろんうまくいかなかつけれど、みんなを笑顔にするおばあちゃんをお手本として、みんなを笑顔にすることができました。今では自分がおいさつをすることもできるようになりましたところです。これは、おばあちゃんのおかげだと覺ります。このことは、ぱくぱく本当に感謝します。そして、これからもおばあちゃんの笑顔をみたいので、体調にはお気をつけ下さい。

尾崎愛花より

さて、地域交流の場として本校にコミュニティルームを作りました。ここは、地域・保護者・児童・職員・他学校関係者の五者が交流するための部屋です。本校の一五〇周年記念事業テーマは「つながろう」でした。その趣旨にご賛同いただいた方々からの寄付金の一部によつて資材を購入し、記念式典後からコツコツと改装を進めました。約三〇年分の手垢や埃をゴシゴシと拭き取り、溜まりに溜まつた過去の遺物（無数のCDROMや取説、古い機械類等）を捨てて捨てて捨てるなりました。名付けて「ミナミちゃんルーム」です。

「ミナミちゃんルーム」の可能性は未知数です。PTA活動にも当然使つていただきたいし、地域の公民館等で行われていいような活動にも子どもたちとの関連があれば使っていただきたいと思います。また、授業参観日などは保護者同士や保護者と職員の交流スペースとして活用していただくことも考えています。そこにいつもお世話になつている地域の方々にも来ていただければ、なお良しです。また、以前あつた子どもたちの勉強を地域の方々にも見て、いたく寺子屋の取組が復活できます。そこにはいつもお世話になつている地域の方々にも来ていただければ、なお良しです。また、以前あつた子どもたちの心地や起点をイメージしています。

三月十四日（金）は、一五〇周年記念事業実行委員会でお世話になつた方々を中心には、二四名の地域の方々においでいただきました。学校評価結果や子どもたちの様子などを伝えるとともに、「ミナミちゃんルーム」の趣旨やそれに伴う学校からのお願いなどもお伝えしました。地域の方々には、質問だけではなく学校の清掃を手伝わせて欲しいなどのご意見もいただきました。私は、ありがたくも早速の交流アイデアでした。最後は給食も食べていただき、「楽しかった」と言つてお帰りになりました。私たちにとっても楽しい時間でした。

それは、ありがたくも早速の交流アイデアでした。最後には給食も食べていただき、「楽しかった」と言つてお帰りになりました。私たちにとっても楽しい時間でした。

このウインウインとは、こうして学校での時間を使いながら、（上段の出来事のような心地よい話）上段の出来事のような心地よい話です。それが身近なことなら、もつとうれしくなります。道徳の教科書に掲載したくなるほどの、いや掲載べきだと思うほどの、心にジーンと染み入る人と人とのすばらしい交流でした。このように人と人のやりとりによってお互いが益々元気になつていく。西南小校区はそんな地